



向井潤吉《六月の田園》[岩手県岩手郡滝沢村] 1971 (昭和46)年 世田谷美術館蔵 ※[]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

2018年
9月8日(土) | 11月4日(日)

The Painter of Folk Dwellings
Mukai Junkichi:
A Record of Exchange

民家の画家
向井潤吉
人物交流記

世田谷美術館
Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL: 03-3415-6011 (代表)
展覧会のご案内: 03-5777-8600 (ホローダイヤル)
www.setagayaartmuseum.or.jp

開館時間 | 10:00 — 18:00 ※入場は17:30まで 休館日 | 毎週月曜日
※ただし、9月17日(月・祝)、9月24日(月・振替休日)、10月8日(月・祝)は開館。9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)は休館。
主催 | 世田谷美術館 (公益財団法人せたがや文化財団) 後援 | 世田谷区、世田谷区教育委員会
助成 | 一般財団法人 自治総合センター、公益財団法人 花王芸術・科学財団
観覧料 | 一般 1,000 (800) 円、65 歳以上・大高生 800 (600) 円、中小生 500 (300) 円
※()内は20名以上の団体料金
※障害者の方は500円。ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。
※リピーター割引/会期中、本展覧会有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金でご覧いただけます。

民家の画家 向井潤吉 人物交流記

The Painter of Folk Dwellings
Mukai Junkichi:
A Record of Exchange

向井潤吉は一九〇一(明治三十四)年に京都で生まれ、一九九五(平成七)年に世田谷で没しました。

その人生の時のながれを考えれば、世界も日本も大きく変貌した二十世紀という時代に、ほぼ重なります。向井潤吉は人として、画家として、この激動の世紀が生み出した多様な潮流と対峙し、そして、自身の生活と芸術の道を探り求めてきました。

向井潤吉は太平洋戦争後、およそ四十年間にわたって日本全国を旅して、草屋根の民家を題材として制作を続けたことで知られています。ややもすれば、そのことに焦点が強くなりすぎてしまい、向井潤吉が画家として歩んできた道程や、その画業の変遷に対して、じゅうぶんな関心がはらわれてこなかったらいいがあります。

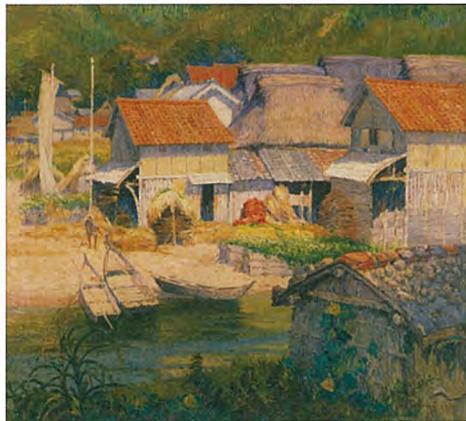
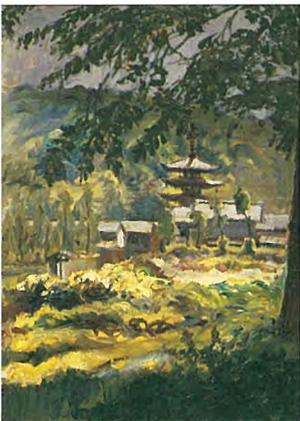
本展は、向井潤吉の画業を主軸としつつ、多くの文章をのこした文筆家としての向井が想いをこめて綴った数々のエッセイを手がかりとして、構成するものです。

向井のエッセイでは、彼が画家として成長し、道を拓いていく過程に関わった作家たちの様子がしばしば活写されています。たとえばそれは、向井が若き日に間接的あるいは直接的に薫陶を受けた浅井忠、都鳥英喜、鹿子木孟郎、安井曾太郎、小出楯重、須田国太郎などの先輩画家であり、戦時中にインパール作戦へともに従軍した火野葦平であり、また同世代でともに世田谷に住んだ本郷新、牛島憲之、難波田龍起、佐藤忠良、舟越保武、柳原義達といった人たちです。

この展覧会は、このようなかたちで、向井潤吉が創造の土壌を育む過程で交流をもったさまざまな作家の仕事や、彼が羨望の眼差しで見つめた先人たちの作品にも視野を広げ、草屋根の民家という独特な題材を追い続けるに至った一人の画家の足跡を辿ろうとするものです。向井潤吉の作品のみならず、二十世紀という時代に、同じ空気を吸いながら創作に励んだ作家たちとの交流の軌跡をお楽しみください。



左から：向井潤吉《遅れる春の丘より》[長野県北安曇郡白馬村北城] 1986(昭和61)年 世田谷美術館蔵／向井潤吉《雨》[新潟県北魚沼郡川口村] 1945(昭和20)年 個人蔵／向井潤吉《自画像》1919(大正8)年 世田谷美術館蔵



左から：須田国太郎《八坂の塔》1915(大正4)年 京都市美術館蔵／都鳥英喜《諸寄村》1913(大正2)年 京都国立近代美術館蔵／浅井忠《薬屋根》1887(明治20)年 千葉県立美術館蔵

関連企画

講演会「日本の民家の特徴」

【日時】9月22日(土) 14:00-15:30(開場13:30) 【場所】当館講堂 【講師】藤森照信(建築家・建築史家・江戸東京博物館館長)
【定員】先着140名 入場無料 ※当日12:00からエントランスホールにて整理券を配布 手話通訳付

講演会「向井潤吉、その歩みと言葉」

(世田谷美術館友の会共催事業)
【日時】9月23日(日) 14:00-15:30(開場13:30) 【場所】当館講堂
【講師】橋本善八(世田谷美術館学芸部長) 【定員】先着140名 入場無料
※当日12:00からエントランスホールにて整理券を配布 手話通訳付

講演会「向井潤吉の模写修業—油彩画に学ぶ—」

【日時】10月20日(土) 14:00-15:30(開場13:30) 【場所】当館講堂
【講師】薩摩雅登(東京藝術大学美術館教授) 【定員】先着140名 入場無料
※当日12:00からエントランスホールにて整理券を配布 手話通訳付

その他の関連企画について

新たな関連企画情報は、随時、当館ホームページでご案内いたします。
世田谷美術館ホームページ「開催中・開催予定のイベント」、「新着情報」をご覧ください。

100円ワークショップ

(子どもから大人まで、どなたでもその場で参加できる工作)
【日時】会期中の毎土曜日 13:00-15:00(随時受付)
【場所】地階創作室 【参加費】1回100円

同時開催展案内

ミュージアムコレクションII 7月21日(土) - 10月21日(日)
「東京スケイプ Into the City」コーナー展示「演田家の系譜—演田晋作 演田友緒展」

ミュージアムコレクションIII 11月3日(土) - 2019年4月7日(日)
「アフリカ現代美術コレクションのすべ」コーナー展示「追悼—保田春彦」

次回企画展案内

ブルー・ノムナリー—役に立たない機械をつくった男 11月17日(土) - 2019年1月27日(日)



【交通案内】
東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス
②「美術館」下車徒歩3分/小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷行バス
③「砧町」下車徒歩10分/小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス
④「美術館入口」下車徒歩5分/来館者専用駐車場(60台・無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

世田谷美術館 Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL: 03-3415-6011(代表)
www.setagayaartmuseum.or.jp 展覧会のご案内: 03-5777-8600(ローダイヤル)

